



野付牛一筋の頑固“オヤジ”

代表取締役 小田一之が挑んだ野付牛物語
～「本当に良い牛肉」を追い求めて～



当社代表取締役 小田一之は、北海道の畜産黎明期から約20年の間

畜産業に関わってきました。その過程で多くの牧場を見てきましたが

いくつもの現場で抗生物質の過剰投与や不確かな肉の使用などを目の当たりにするにつれ

「自分自身で本当にお客様に対して自信をもって提供できる

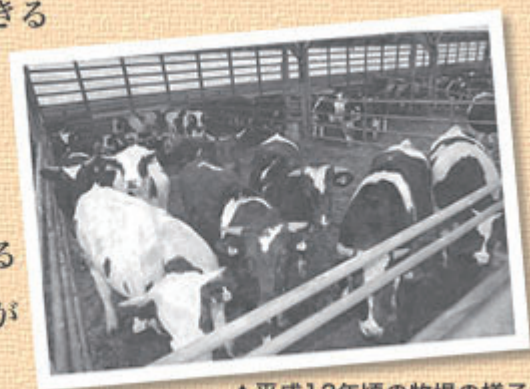
“本当に良い牛肉”をつくりたい。」

と思い、野付牛の肥育牧場をスタートしました。

その後、様々な試行錯誤を繰り返し、ようやく納得できる

牛肉を基にした「野付牛ローストビーフ」をつくることが

できました。



▲平成12年頃の牧場の様子